

文学創造都市おかやまのプロモーションのため 豆本を製作しました

ユネスコ創造都市ネットワーク・文学分野加盟のプロモーションのため、ミニサイズの冊子「豆本」を製作しました。この豆本は、当時のカバヤ児童文化研究所が昭和27年から29年にかけて「カバヤ児童文庫」として出版したB6版ハードカバーの文庫本をミニサイズで復刻したものです。

1 概要

製作部数 900冊(300冊×3種類)

形状等 縦5cm×横4cm、125～128ページ、表紙・裏表紙フルカラー、本文モノクロ

販売形式 カプセルトイ

販売価格 400円(予定)

販売場所 文学フェスティバルのイベント会場等

※カプセルトイは今後文学関係のイベント等で設置予定

販売時期 令和6年11月24日(日)「おかやま表町ブックストリート」より販売開始

2 豆本の内容について

カバヤ児童文化研究所(当時)発行「カバヤ児童文庫」のうち、3作品を豆本として製作します。「シンデレラひめ」(第1巻第1号)、「しらゆきひめ」(第1巻第5号)、「オズの魔法つかい」(第7巻第1号)



- ・「カバヤ児童文庫」は、カバヤ食品株式会社が「カバヤキャラメル」のキャンペーンの景品として製作しました。昭和27年に第1巻第1号「シンデレラひめ」を創刊して以降、昭和29年の第12巻第15号まで、合計159冊が累計約2,500万部発行されました。

3 その他

豆本の製作は、2023年10月に岡山市がユネスコ創造都市ネットワーク(文学分野)へ国内で初めて加盟し、文学によるまちづくりを進める取組の一環として実施。「カバヤ児童文庫」を一部復刻して製作する豆本により、より幅広い市民に文学にふれてもらうことを狙いとしています。

【問い合わせ先】

岡山市文化振興課 流尾・新居田・門田

電話番号：086-803-1054 内線3747